

2020年10月7日

前回述べたように、これから世界は最悪の食糧不足の時代を迎えると思われる。この話はまた別の機会に述べるとして、前述したように日本はまもなく極楽あるいは楽園のような状況になって行くと思う。日本国民は働かなくても最低限の暮らしができる状態になるだろう。つまり働かなくとも最低限生きていける食事は国が保証する。食べ物が全国民に只で配給される。お金がなくても餓死することはないという程度だが！私のように怠惰なものにとっては無理に働かなくとも飯が食える。あるいは最近取りざたされているベーシックインカム、国が最低限生きていけるだけの金を国民全員に支給する。

もちろん働いてもっといい暮らしもできるだろう。日本国憲法では最低限の暮らしを保証しているため、国はこうしたことを行はなければならない。怠惰な人間にとっては仕事をしなくても生きていけるのだ。多分医療にしても今の日本にとっては治らない病気は徐々になくなっていくだろうと考えられる。つまり過去に存在した楽園の出現だ。私が今回提示するのは、こうした世界になったとき人間は何をするのだろうかということだ。仕事をしなくて済む分、趣味に生きるという人がいるかもしれない。しかしながら皆が趣味を持っている訳でもないし、たとえ趣味があってもそれだけで生きていけるものだろうか？何か希望を持てるものが我々の世界に残るのだろうか？多分キリスト教の楽園であっても、仏教の極楽であっても何か希望がなくては生きていけないだろう！もしかしたらキリスト教の神は人間がこうしたものであることを知ってしまうことを恐れて、人間が知恵を持つことを悪としたのかもしれない。

これまで人間は欲をもってなるべくいい暮らしをしようという希望をもって生きてきた。しかし今後人間社会では何不自由なく皆が生きられる社会が遠くない将来実現されると思われる。人間はこうした状態で何をするのであろうか！過去にアメリカ大陸がコロンブスによって発見された時には、ヨーロッパ人はこぞって新大陸に進出して、原住民を蹂躪しつつ大陸を、金を求めて西海岸まで進出した。こうしたいわゆるフロンティアがアメリカにはあった。でも今は何もない。あなたはどうしますか？残念ながらいい対策は見つからない。唯一フロンティアとして残っているものは宇宙かもしれない。今後人間は地球上でやる事がなくなったら、宇宙に進出するのかもしれない。過去のアメリカのように、まず先駆者、冒険者が宇宙に進出し地球に戻らない、これを支える科学技術者が一緒になって宇宙に進出するのだろう！どこかで宇宙人に遭遇すれば、かつてアメリカ原住民にしたように、彼らを征服して宇宙を占領していくことになると思われる。残念ながら今後の我々にはそれしか進む道はないのかもしれない。宇宙への進出は人類の存亡をかけたものとなるだろう。そういう時代になりつつあるのかもしれない。聖書にあるように人類は知恵を持つべきではないのかと思う。人類の未来はあまりいいものではないさそうだ。やはり人類も滅亡のときを迎えるのかもしれない。あなたはどうする？